

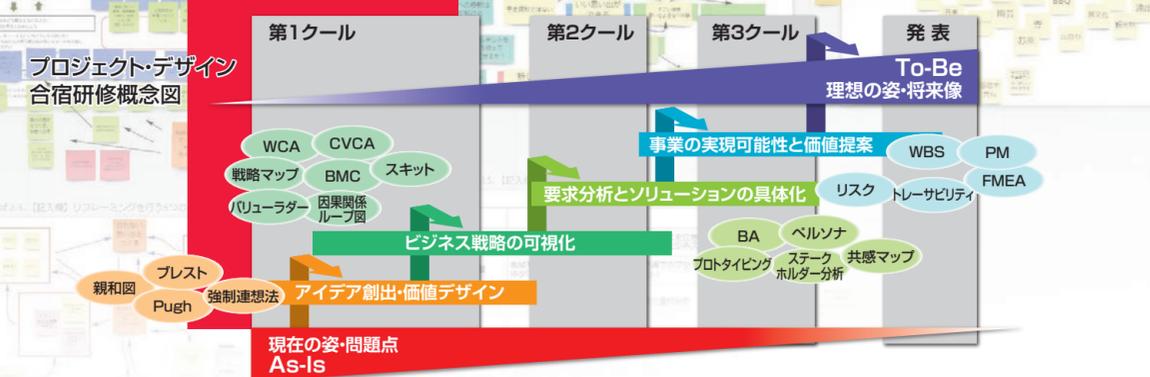
協創

熱い8日間の 事業創出 ワークショップ。

SDGs×DX



2030年に向けて
世界が抱える課題を解決する
持続可能な開発目標です。



世界中を巻き込んだCOVID-19パンデミックにより、日本社会も未曾有の社会変革を経験することとなりました。今まさに、困難な状況の中、従来とは違った視点からイノベーションを生み出すスキルが重要となっています。

本研修は、複雑な社会の問題に対してイノベーションを創出するプログラムとして、毎年改善を繰り返しながら、本年度で13回目を迎えます。デザイン思考やシステムズ・エンジニアリングに関する理論やツールを用いて開発されたシステム×デザイン思考と、戦略に基づく新規事業プロジェクトのデザインを、超上流から具体的な要求分析まで一貫貫したテーマで学習できるSDMならではのカリキュラムです。本年もSDGsやDXをキーワードに社会的脅威の中で生き残りをかけたビジネスモデルを協創します。

昨年度は初めてオールオンラインでの開催となりましたが、グループ共同作業のツールを利用したワークショップ、講師陣とゼミ形式で直接議論できるオフィスアワー、過去の修了者によるメンター参画、現役SDM学生によるワークショップ・サポートなどにより、例年にも増して白熱し、レベルの高いアウトプットを仕上げる事ができました。

本年度は、集合研修とオンライン研修の両方のメリットをとり入れた

7日間のハイブリッドスタイルでの学習に加え、招待した第三者に成果を見ていただける最終プレゼンテーションの計8日間にわたるパワーアップした構成といたしました。

もちろん、研修の成果を実際に組織に適用するための構成は例年のとおりです。新しい研究成果やトレンドツールをとり入れたSDM教授陣による講義およびワークショップの他、過去この研修を修了し実務で活用されている方をゲストに招き、その実績をご紹介いただきます。

また、普段の業務で出会うことのない異業種のメンバーたちとのアクティブラーニングによって、新たな視点や気づきを得ながら学びを進めていくことも、この研修の特徴です。例年、この研修で出会ったメンバーたちが同窓会を開くほどの良い仲間づくりになっており、研修期間だけでなく、長期にわたる人間関係のネットワーク構築のために本研修をご利用いただいているようです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、本パンフレット作成時点において、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、集合研修を含む開催を予定しています。状況により全てオンラインとなる可能性もあります。開催方針については、9月中旬をめどに確定する予定です。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

大塚 有希子 当麻 哲哉

セミナー
コーディネーター

大塚 有希子
Yukiko Otsuka

コンサルタント。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP、CBAP、ITCインストラクター、1級FP

監修

当麻 哲哉
Tetsuya Toma

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、表彰など。金融機関人事部門、戦略企画部門を経て、現在は戦略・マネジメントに関するコンサルティング、制度設計および人材開発を行っている。「組織リーダー養成コース」も担当。SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」のリーダー。PMP®資格受験対策講座も担当。本研修についてセミナーコーディネーターを務める。

1988年3Mに入社、製品開発スペシャリストとして日米両国で約20年間、数々のイノベティブな新製品をグローバル市場に導入、2007年に退職、2008年より大学教員、現在に至る。2010～2017年PMI日本支部理事、2019～2020年マサチューセッツ工科大学訪問研究員、2020年よりPMI本部GAC (PM教育プログラム国際認証機関)ディレクター。著書に「グローバルプロジェクトチームのまとも方: リーダーシップの新たな挑戦」(監訳、慶應義塾大学出版会)がある。



第13回「システム×デザイン思考」を实践に生かす プロジェクト・デザイン 合宿研修

募集要項

期 日：〈第1クール〉 集合研修 2021年10月12日(火)～14日(木)
〈第2クール〉 オンライン研修 10月26日(火)～27日(水)
〈第3クール〉 オンライン研修 11月29日(月)～30日(火)
〈第4クール〉 集合研修 12月13日(月)

会 場：集合研修は慶應義塾大学日吉キャンパス協生館
オンライン研修はZoom、miroなどを活用して行ないます。

募集定員：25名 (最少催行人数:16名)

対 象：プロジェクトをイノベティブに企画・遂行するリーダーを目指す方

受 講 料：440,000円(税込)

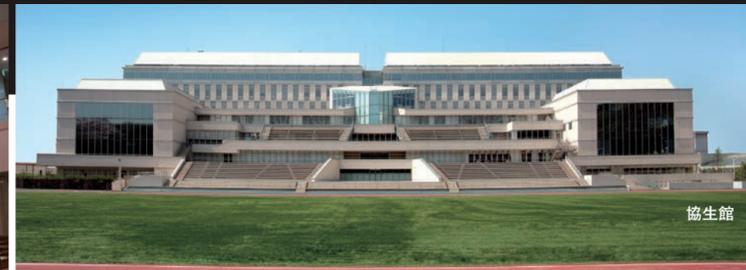
*宿泊費は別途お納めいただきます。

*状況により全日オンライン開催とする可能性があります。

開催方針については、9月中旬を目途に参加者にご連絡します。

申込方法：WEBサイトよりお申込ください。

協生館宿泊施設



協生館

第1クールは合宿形式セミナーのため、10月12日(火)、13日(水)は原則として全員、協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。ご希望の方は前後泊も可能です。また、第4クール12月13日(月)の前後泊もご利用いただけます。(一人部屋、4,400円(税込)/泊)

システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的な研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究所です。公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

●交通アクセス



日吉駅直結

*各クール間にグループ課題も
ございます。

全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大67 PDU (Education, T:34/L:15/S:18) の受講証明、最大16.5ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリー2Bで最34.5CDU自己申請することができます。



第11回 2019合宿研修

第13回 2021

SDIM

System Design and Management

プロジェクト・デザイン 合宿研修

生き残る 協創 戦略

「システム×デザイン思考」を实践に生かす

【後援団体】



一般社団法人 PMI日本支部



特定非営利活動法人
日本プロジェクトマネジメント協会



一般社団法人 IIBA日本支部



特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会



一般財団法人 エンジニアリング協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

2021

10.12(火) → 10.14(木)

10.26(火)・10.27(水)

11.29(月)・11.30(火)

12.13(月) 計8日間



合宿研修スケジュール

行事等
※オフィスアワーは質疑応答や情報共有の場(任意参加)です

集合研修

オンライン研修

※内容は変更される場合があります

第1クール

集合研修(合宿)

第2クール

オンライン

第3クール

オンライン

第4クール 集合研修

1日目 10/12火 一チーム・ビルディング	2日目 10/13水 一デザイン思考	3日目 10/14木 一戦略策定
8:30-9:00	オフィス・アワー	オフィス・アワー
9:00	「リフレーミング」 長谷川	「ミッション検討」 濱
10:30	開講式・事務連絡 10:00-10:30	「ミッション検討」 濱
10:45	研修イントロダクション 「研修概要および演習テーマ」 大塚	「ビジネスモデル・キャンパス」 濱
12:15	「コンセプト定義」 長谷川	「ビジネスモデル・キャンパス」 濱
(60分)	昼食(各自)	昼食(各自)
13:15	「マネジメントイノベーション・協創・幸せの関係」 前野	「ビジネスモデル・キャンパス」 濱
14:45	「価値創出」 長谷川	「ビジネスモデル・キャンパス」 濱
15:00	「本質的問題解決を妨げる9の思考のワナ」 米澤	「戦略マップ」 濱
16:30	「価値連鎖分析」 長谷川	「戦略マップ」 濱
16:45	「アイデア創出とチームビルディング」 大塚	「プログラム・デザイン」 濱
18:15	「プロトタイピング」 長谷川	「プログラム・デザイン」 濱
(75分)	夕食(各自)	夕食(各自)
19:30	「フェルミ推定」 長谷川	「フェルミ推定」 長谷川
21:00	グループ・ワーク	グループ・ワーク

4日目 10/26火 一システム思考	5日目 10/27水 一システムズ・エンジニアリング	6日目 11/29月 一中間発表	7日目 11/30火 一ビジネスの実現にむけて
オフィス・アワー	オフィス・アワー	オフィス・アワー	オフィス・アワー
「ビジネス・リスク」 都丸	「システム・アーキテクチャ」 白坂	中間発表 「調査分析報告」	「ビジネスの収益性検証」 都丸
「ビジネス・リスク」 都丸	「システム・アーキテクチャ」 白坂	中間発表 「調査分析報告」	「ビジネスの収益性検証」 都丸
「システム思考」 当麻	「コンテキスト分析」 長谷川	発表評価および 妥当性確認	「PM-BAと要求分析」 大塚
「トレードオフ分析」 当麻	「システムズ・エンジニアリングの要求分析」 長谷川	パネル・ディスカッション 「SDMメソッドの適用」	「機能要求引出」 大塚
「因果関係ルーブ図」 当麻	「アーキテクティング」 長谷川	パネル・ディスカッション 「SDMメソッドの適用」	「ポートフォリオマネジメント」 大塚
グループ・ワーク	グループ・ワーク	グループ・ワーク	グループ・ワーク

8日目 12/13月 一最終発表
オフィス・アワー プレゼンテーション準備
「思考のワナにハマらないための力を鍛える」 米澤
最終プレゼンテーション準備 リハーサル
最終プレゼンテーション
最終プレゼンテーション
研修振り返り 修講式

講師プロフィール

白坂 成功
Seiko Shirasaka
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 博士
(システムエンジニアリング学)、PMP

米澤 創一
Soichi Yonezawa
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授
プロジェクトマネジメント/人材育成
コンサルタント、プロフェッショナル
メンター、投資家

濱 久人
Hisato Hama
株式会社彩成コンサルティング代表
取締役 PMAJ研修委員会委員、
慶應義塾大学大学院・東洋大学 非常
勤講師

長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属システム
デザイン・マネジメント研究所 研究員
リコージャパン(株)人財本部 シニ
アスペシャリスト

都丸 孝之
Takayuki Tomaru
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任准教授
博士(システムエンジニアリング学)
慶應義塾大学大学院経営管理研究科
(慶應ヒビジネススクール)非常勤講師

前野 隆司
Takashi Maeno
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 兼 慶應
義塾大学ウェルビーイングリサーチ
センター長 博士(工学)

三菱電機(株)を経て現職。専門分野は、イノベーション創出にむけた新価値創造方法論であるシステムxデザイン思考や、システムズエンジニアリング。2015~2019年、内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImpACT)のプログラムマネージャーとしてSAR衛星を開発。現在は情報処理振興機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター有識者会議議長、(一社)スマートシティ・インスティテュートエグゼクティブアドバイザー、内閣府宇宙政策委員、経済産業省グリーンイノベーションプロジェクト部会WG3座長などを兼任。

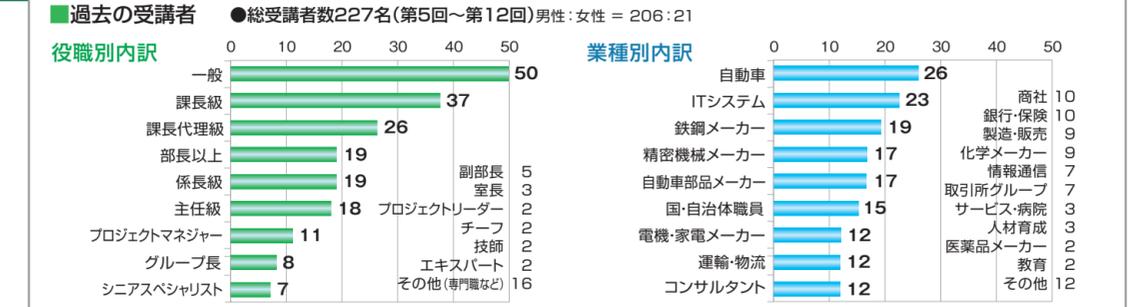
元アクセントゥア株式会社マネージングディレクター。26年10ヶ月にわたるアクセントゥアのキャリアでは、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPプラットフォーム統括、教育責任者、品質管理責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(SDM)設立時から教鞭をとっている。著書「プロジェクトマネジメントの生活のスズメ」(日経BP)、「本質思考トレーニング」(日本経済新聞出版社)

建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当、その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティを経て、現在は株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を推進中。

慶應SDM研究科システムエンジニアリング学を履修後、研究員として人材育成と事業開発を同時に行うメソッドを研究・開発している。株式会社リコーの基幹システム要求開発を長年担当し、SDM学を活用した事業開発型の人材育成プログラムを展開。リコージャパン(株)では人財開発戦略を担当。また、ビジネス・システムデザイン研究所™代表として業界を跨いだ地域創生事業支援や、創業支援を行っている。

富士ゼロックス株式会社を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科および複数の企業にて顧客価値分析を用いた事業創出プログラムを展開。専門分野は、仮説検証型のアプローチを用いた事業の創出、モノとコトづくりの融合(起業デザインラボ、グローバルことものづくり研究会の運営)、低コスト部品を調達するためのサプライヤーの開拓・評価など。著書「働きながらも博士号はとれる(研究社、2014)」

キヤノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て現職。著書:「幸せな職場の経営学」(小学館、2019)、「幸福学×経営学」(内外出版社、2018)、「幸せのメカニズム」(講談社、2013)、「思考脳力のつくり方」(角川新書、2010)、「脳はなぜ「心」を作ったのか」(ちくま文庫、2010)など多数。専門は、システムデザイン・マネジメント学、幸福学、イノベーション教育など。



受講者のコメント

國枝 麻里子
株式会社
野村総合研究所
(第11回参加者)

本研修にて、「イノベーション創出は、偶発の産物ではない、狙ってイノベティブに考え、仮説検証を繰り返して、初めてたどり着く境地だ」ということを学び、感銘を受けました。実践型の授業は、刺激的かつ有意義なものでした。

坂上 真美
個人事業主
(第12回参加者)

SDMのエッセンスが学べると先輩から聞き参加しました。インターバル期間も手厚いフォローを受け「システム×デザイン思考」を深く学べる貴重な3ヶ月間でした。異業種の仲間とその後も交流が続いている点も財産です。

神藤 善行
神田通信機株式会社
(第12回参加者)

多岐にわたる業種の方と同じ目的に対し、多様な意見を出し合って進めていく発想の幅の広さに刺激を受けました。オンライン開催という観点でのツールの活用も非常に勉強になりました。チームで最終日に夜遅くまで成果物を練り上げ、全員でプレゼンした達成感は忘れられないです。

五藤 洋平
マツダ株式会社
(第11回参加者)

研修では異業種で活躍される研修生から新鮮な刺激を貰いつつ、よりイノベティブな発想に至るプロセスを実践課題で学ぶことができました。大舞台での最終発表はTED Talkを製造に似せた心に残る経験でした。今後は自社製造ラインにSDMを織り込むことで、オンライン工場を実現していきたいと思っております。

井川 真里
コココラボラース
ジャロ株式会社
(第10回参加者)

経験豊富なプロジェクトマネジメントのプロが講師となり、体験談を交えた講義は大変貴重で勉強になりました。また、様々な業種の受講生とのワークショップでの新たな視点や気づきもあり、新鮮で刺激的な6日間でした。

石塚 清香
横浜市経済局
(第9回参加者)

一つのテーマについて異なる業種の人達と様々なツールや思考法とネットワークを駆使しながら「システム×デザイン」していく過程は得難い経験であり、自分の脳細胞が再デザインされたような爽快感がありました。

フェローからのご挨拶

吉武 勇人
旭化成株式会社
マーケティング&イノベーション本部
マーケティング統括部
(第11回参加者)

本質的かつ説得力のある講義が展開され、世の中に新たな価値を生み出すこと、そこで必要なことを体系的に学ぶことができます。フェローとして精一杯サポートさせていただきます。皆さんとアツい議論ができることを楽しみにしています。

佐藤 友彰
ヤマハ発動機株式会社
マリン事業本部
新事業開発グループ
(第10回参加者)

「狙ってイノベーション創出する」という考え方が、個人的には衝撃的でした。システム思考×デザイン思考について実践的に学べるこの研修は、とてもハードでしたが、満足度も高く、忘れられない経験になっています。

*フェローとは、過去の修了者によるメンターの中でとくに著しい貢献があった方です。フェローには本年度も受講者をサポートしていただきます。